

# 北里大学理学部同窓会報

2022年 第25号



第7回万国衛生学会議（1891年、ロンドン）北里柴三郎博士、中列右から4人目  
（北里柴三郎記念室所蔵）

## ● CONTENTS ●

会長就任挨拶……………	P 2	旧A1号棟(衛生学部棟)記録映像公開のお知らせ…	P 11
会長退任挨拶……………	P 3	今は昔の相模原キャンパス……………	P 12
新任挨拶……………	P 4	近況報告バトンタッチ……………	P 13
退任挨拶……………	P 5	理学部事務室より……………	P 14
2021年度理学部同窓会定期総会報告……………	P 6	就職センター／同窓会からのお知らせとお願い…	P 15
就職ガイダンス……………	P 9		

理学部同窓会ホームページ：  
<https://kitasato-rigaku-d.jp> または <https://北里大学理学部同窓会.jp>



## 「先輩方の星霜を受け継いで」

理学部同窓会長 甲斐 恒人  
(HC20)

会員の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

2021年度の定期総会におきまして、会長職を拝命いたしました旧衛生学部化学科20期生の甲斐恒人です。理学部卒業生が過半数を超えている本会の現状では、少し憚られるかと存じますが、様々な課題を会員の皆様のご理解を得ながら役員のお力をお借りして任期まで精一杯努めてまいりたいと考えております。

さて、現在の理学部同窓会は、旧北里大学衛生学部の改組に伴い、1994年4月に旧衛生学部同窓会が本会と医療衛生学部同窓会に組織変更されたことにより誕生いたしました。しかし、そのルーツは1966年に設立された北里大学同窓会としております。北里大学同窓会の設立当初の会員は、旧衛生学部（化学科及び衛生技術学科）卒業生だけであったわけです。すなわち本会は設立から55年を数える7学部の中で最も歴史ある会員組織であることを皆様に改めてご理解をいただければと思います。この歴史ある本会を継続的に発展させるためにも同窓会本来の姿である会員や準会員に対する様々な事業展開のみならず、母校の発展に寄与すること、そして何より卒業生間の絆を支える組織でありたいと願っております。つきましては、前会長（現沼上清彦名誉会長）や諸先輩方の運営方針を礎に本会をさらに強固な組織へと構築していかねばならないと思います。

そのための方策として、5つの柱を考えています。

### ①理学部ならびに同事務室との連携の強化

本会の事業を遂行するには学部との意思の疎通が重要であり、齟齬を生じさせることのないよう良好な関係を継続する努力をしております。

### ②理学部卒業生を主とした新規の立案

理学部卒業生や準会員をターゲットにした事業には、就職ガイダンスや若手教員学術集会「若手ラボ」への支援がありますが、新たな事業を立案して本会に対する関心を高めて行きたいと考えております。

### ③本会役員の段階を踏んだ世代交代

本会第10期理事の内訳をみますと20名中13名(65%)が、旧衛生学部の卒業生で、構成されています。理学部卒業生が過半数を超えて久しい本会の現状を勘案すれば、私の任期中にこの構成比率を少なくとも50%に移行したいと考えています。

### ④北里大学同窓会との連携強化

本会から上部組織である北里大学同窓会には副会長1名、常任理事1名、理事3名を出しており、それぞれ重要な役割を担っています。うち千葉貴子副会長と常任理事を兼務する小生は北里大学の設置母体である「学校法人北里研究所」の評議員を拝命しており、卒業生の代表として少なからず母校の発展に寄与できる立場にあります。このように北里大学卒業生全体を統括する大学同窓会の役割は大学経営にも及ぶため、その連携強化の大切さは申すまでもありません。

### ⑤他学部同窓会と本会役員との交流促進

大学同窓会との連携は7学部同窓会との良好な関係構築に立脚したものでなくてはなりません。本会是他学部同窓会と積極的に交流し、コミュニケーションを取りながら横の連携を図り、本会の存在を確かなものにして行きたいと思っております。

これらの事柄を実行していくには、皆様方のご理解とご協力が不可欠です。微力ではありますが、私、与えられました会長職を全力で努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 「会長退任によせて」

名誉会長 沼上 清彦  
(HC6)

会員諸氏にはコロナ禍におかれましてもご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、私は2021年度の理学部同窓会定期総会において、甲斐恒人氏（HC20）に本会の会長職を託し、名誉会長に就任させていただきました。

不肖私が15年もの間、本会の会長を務めることができましたのは、役員各位のご理解、ご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

とりわけ15年の大部分を支えていただいた長原勝彦元副会長（現監事、HC1）には、そのご尽力によるところが多岐でありましたし、事務局運営を孤軍奮闘していただいた大用早苗事務局員とともに重ねて御礼申し上げたいと思います。

本会との関わりは、1986年に旧衛生学部同窓会理事に就いたときに始まります。あれから35年（内32年は北里大学同窓会役員を兼務）が経過したことを振り返れば、私の人生の半分近くに同窓会が身近にあったこととなります。

1994年に衛生学部は発展的に解消し、新たに理学部と医療衛生学部が誕生しました。このとき、衛生学部同窓会も理学部同窓会と医療衛生学部同窓会に改組されましたが、以来12年間を理学部同窓会副会長として櫻井典子会長（HC2）の補佐役を務めさせていただきました。

その後の15年を会長として、微力ながら本会の基盤整備や役員世代交代に、そして理学部との意思疎通の円滑化に力を注いできたつもりであります。

本会の目的の一つが理学部の発展に寄与することであるため、理学部との良好な関係構築は必須ですが、ついでには歴代理学部長や同事務長には大変お世話になり、その結果として、現在の本会が

あると承知をしております。特に現学部長の真崎康博教授には過分なご厚誼を賜り、この場をお借りして衷心より謝意を表する次第でございます。

また、本会の活動を通じて、学校法人北里学園および学校法人北里研究所の評議員を27年間務めさせていただきました。これは理学部同窓会推薦枠もしくは北里大学同窓会副会長枠でのものでしたが、卒業生の立場で、法人運営の一端に関わり、時に発言をさせていただく機会を得たことは、貴重な経験でありました。

ところで、理学部は北里大学にあって職能性にまったく立脚しない学部であり、またルーツを旧衛生学部が発する学部でもあるため、本会はこれらに目配りしながら、ランダムな卒業生の思いを勘案しつつ運営しなくてはなりません。

このような運営の難しさがあったにせよ会長時代を省みれば至らないことだらけであり、役員諸氏には不必要な負担を掛けしてしまったのではないかと案じております。

甲斐新体制に移行したことで、世代交代が促進され、理学部出身役員の活躍が期待されています。甲斐会長の優れたマネジメント能力やコミュニケーション能力をもってすれば、これらの豊かな人材を用いて、本会がより一層発展することは間違いのないものと思っております。

とは申しませんが、甲斐キャビネットは発足したばかりであり、皆さまのお力添えが必要です。関係各位にはご高配を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、会員の皆さまのさらなるご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、会長退任の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



## 教授就任のご挨拶 半導体物理学と量子情報科学に従事して

物理学科生物物理学講座教授 三森 康義

この度、2021年4月1日付けで物理学科生物物理学講座の教授を拝命いたしました、三森康義です。ご挨拶を申し上げるとともに、自己紹介を兼ねて私の専門とする研究に関してご紹介したいと思います。

出身は葡萄とワインの産地である山梨県甲州市勝沼町です。高校まで地元で過ごし、大学は東京工業大学理学部応用物理学科（当時）に進学し、博士課程まで過ごしました。博士課程では、日本学術振興会特別研究員を兼務しておりました。その後、通信会社に1年ほど勤務後、東工大、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）のポスドク、東北大学電気通信研究所の助教、准教授を経て現在に至ります。

私の研究人生がスタートするきっかけは東工大の4年生時の指導を担当して頂いた北原和夫教授（元日本物理学会会長）との出会いでした。学部時代、光の実験を行う研究室に所属することを考えていたのですが、私が4年次にはそのような研究室が無く、大学で習ったことを復習するつもりで、理論の研究室である北原先生の研究室で1年お世話になることにしました。しかしながら理論の研究室だけあり、当初の目論見だった大学の復習を行う時間などは全くなく、毎日が新しい知識の習得で悪戦苦闘の日々でした。その間、理論研究の手法や数値計算の研究手法など集中的に指導して頂き、その経験が今の研究人生に役立っております。特に4年生として嬉しかったことは卒業論文で行った数値計算の結果が投稿論文として出版され、研究の醍醐味、達成感を経験できたことです。大学院では新設された南不二雄教授の研究室に所属し、ここから本格的な実験的研究を行うことになりました。実験は半導体中の電子状態の量子干渉効果をレーザー分光で観測するのですが、修士の学生のテーマとしては難易度が非常に高く、1年半くらいデータが出ない失敗続きの日々を過ごしました。そんなある日、絵に描いたようなサイン曲線の量子干渉効果が観測され、「教科書に書いてあることは本当なんだ。」と思うと同

時に自然界が描く曲線の美しさに感銘を受けました。この時の感動というか衝撃から半導体のレーザー分光を自分の生涯の専攻にしようと思えました。

博士課程修了後、通信会社に1年ほど勤務後、東工大の宗片比呂夫教授の研究室でポスドクとして半導体スピントロニクスの研究に従事後、NICTの佐々木雅英先生のもとで、量子力学と情報科学を融合した新しい科学技術である量子情報技術の研究に従事しました。この2つの学問体系は個体中の量子状態と光子の量子状態の制御を行い、その結果として大容量通信、暗号、量子計算、量子メモリの開発を目指すもので、現在私たちが享受している科学技術とは全く異なる体系の技術革新を予感させる研究でした。その後、東北大学電気通信研究所の枝松圭一教授の研究室のスタッフとして量子情報通信を目指した半導体中の電子状態の量子状態制御の研究を行いました。枝松先生には約16年間お世話になり、大変感謝申し上げる次第です。

ここ最近、皆様も「量子計算」といった「量子～」と言うキーワードを耳にする機会が増えたかと思います。私がポスドクを行っていた20年前は、一部の研究者しか耳にしない言葉でした。ところが、量子計算や量子暗号の一部は実用化され一般の方々も利用できる時代が目前に迫っております。また量子計測技術が実用化されると生命科学を含むすべての科学技術に対して大幅な技術革新を促すと期待されています。このことは、現代物理学が生活の一部に溶け込み、最先端科学技術と基礎物理学の統合が大幅に進むことを意味します。また同時に、物理学科を卒業する学生にとっても社会で活躍できるフィールドが広がることを意味します。私も微力ではございますが教育研究活動を通じて、本学の建学の精神に則り、一人でも多く社会に貢献できる学生の育成に励みたいと思う次第です。改めまして、同窓会会員の皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



## 退任のご挨拶

北里大学名誉教授 米田 茂隆

卒業生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか？月日の立つのは早いもので、この3月で私は定年退任となりました。そのご挨拶のため、ご依頼により5月後半にこの文章を書いています。皆様、卒業後に大きくご成長のことと思いますが、理学部設立以来27年間たち、相模原キャンパスもビルが建て替えられ今はずいぶん違った景色になりました。不可逆な時間の流れを実感します。本学は、校風でしょうか、実直で人情の機微に聡い方々が多く、私は教えたというよりむしろ教えていただいたという気持ちです。長い歳月、大過なく勤められましたことは皆様方のご厚情の賜と深く感謝しております。

詳しくはご存じないかも知れませんが、まず私の経歴を短く述べますと、私は東京大学理学部物理学科の出身で大学院時代は生命の起源に関して分子力学を用いた核酸複合体の計算をしていました。平成2年（西暦1990年）9月にご縁がありまして大正製薬総合研究所から本学薬学部に転職し、理学部設立と同時に理学部に移りました。退任時には物理学科生物物理学講座の教授でした。ご厚意により名誉教授にいただいています。研究上、世間的にはおそらく私は本邦初演タイプの生体分子の分子動力学シュミレーション屋と見られていると思われ、実際、Cray等のスパコンと欧米製プログラムを用いた自由エネルギー計算等にも取り組んで来ています。ただ、自分としては計算原理とプログラムを開発することを本職と捉えていて、特に回転対称性境界条件を初めとした「理論構造ウイルス学」の小さな領域を開拓したことが思い入れのある仕事です。もっとも、やや意固地な、「米田学」的な分野になってしまったため、教育には少し長い段階が必要で、また就職への有利さも考慮して、私が教えていたのは主に応用計算やプログラミングだったと思います。

退任後、初めの1ヶ月間は書類を整理してIT機器と家具を購入し、その後、理論構造ウイルス学の方法論開発を再開しました。紙と鉛筆でアルゴリズムを発見し、なるべく最近の技法を使ってプログラムを書き、絵付きのマニュアルにまとめるという作業です。退職前は1年かけてもできなかった仕事を2、3週間で終えているような感覚なのですが、あまり没頭しないよう気をつけて、文化とスポーツを楽しみながら、と思っています。

話がそれますが、ミュージシャンの竹内まりやさんは私と同い年です。若い頃、彼女は多忙な売れっ子歌手でしたが、喉のポリープによる入院を契機に「好きな音楽を歌おうと努力することがかえって自分を音楽から遠ざける」ことを疑問に思い、一時引退し、その後はご存じのようにCDを売って、色々な意味で豊かな生活をしています。羨ましい限りですね。私もこれからは彼女を目標にして、できる限り発表等は避け、例外的に他大学からお引き受けしている理論構造ウイルス学の大学院講義は別として、成果を直接届けることに専念して生活の糧とする計画です。脱コロナ後の社会は追い風になるかも知れません。愛と勇気をもって、他者からの評価を気にせず、自分にとっても親しい人たちにとっても社会にとっても有意義な日々を過ごしたいと願っております。

最後に、同窓会は卒業生の懐かしい交友の場であるのはもちろんですが、大学にとって顧客管理（CRM）のために中核的的重要性があると私は思っております。例えばIT化推進についてもシーズからの発想のみに頼りますと業者からの情報に支配されることとなりますので、CRMのニーズからの取り組みが重要と思います。今後、同窓会の益々のご発展を祈念しております。まずは略儀ながら書中をもってお礼かたがたご挨拶申し上げます。

# 2021年度理学部同窓会定期総会報告

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2021年度の北里大  
理学部同窓会定期総会は昨年度に引き続いて対面審議は中止と  
し、議案の表決を(A) Zoomによるオンライン方式、(B) 書面  
審議方式、(C) 議長委任から選択するという方式で開催しました。

以下に当該定期総会の概要を示します。

## 1 開催日時・場所

- (1) 日時：2021年5月22日(土) 13:00
- (2) 場所：相模原キャンパスL1号間 3F 31講義室

## 2 出欠者

### (1) 出席者87名

小池惇平(HC1)、長原勝彦(HC1)、坂口洋(HC2)、西尾公  
男(HC3)、竹澤美男(HC4)、小沼和久(HC6)、沼上清彦(HC6)、  
石原裕三(HC7)、麻生綱男(HC8)、石川一郎(HC9)、石水  
和夫(HC10)、國香清(HC11)、蓮沼良一(HC11)、氏家重  
夫(HC12)、島崎道広(HC12)、藤本玲子(HC12)、衣川佳美  
(HC13)、雨宮純子(HC14)、内田宏(HC14)、森孝之(HC14)、  
伏見尚登(HC16)、山田淳(HC17)、須貝昭彦(HC18)、田  
所順一(HC19)、八井田文子(HC19)、甲斐恒人(HC20)、鈴  
木芳弘(HC21)、小泉博之(HC22)、山下宣行(HC23)、椎名  
文乃(HC24)、小笠原正勝(HC25)、竹尾文彦(HC26)、長谷  
部浩司(HC27)、伊藤昌史(HB1)、木村武俊(HB1)、佐藤康  
(HC28)、千葉貴子(HC28)、坂内健志(HB2)、嶋宮民安(HB3)、  
渡辺知広(HC30)、秋本護(HB4)、前川敏郎(HB4)、平井  
正美(HC31)、福山勝也(HC31)、篠川裕子(HB5)、石原稔  
(HC32)、桑原美保子(SP1)、酒井利奈(SP1)、中條総子(SC1)、  
吉瀬晴子(SB1)、中野章代(SC3)、藤井祐介(SC4)、田村  
啓(SB4)、吉本真紀子(SB4)、田辺由美子(SC5)、三浦慎一  
郎(SB5)、國廣喜史司(SP6)、東海林周平(SC6)、佐々木千  
明(SB6)、武者孔佑(SP7)、千ヶ崎裕介(SC7)、吉野成嗣(SB7)、  
小野憲司(SB8)、松本俊英(SP8)、田草川英昇(SP9)、荒木  
恒平(SC9)、前田晴紀(SC9)、江澤絵真(SB9)、今村敦(SP10)、  
齋藤昂良(SB10)、菅谷大地(SB10)、曾根靖人(SC11)、奥  
田悠介(SP12)、石毛達也(SB12)、杉本愛(SP15)、千葉慧  
(SB15)、長谷川祐紀(SP17)、逸見拓谷(SC17)、山神廉弥  
(SP18)、吉成英里佳(SC20)、立石智美(SC21)、霜田れもん  
(SB22)、加藤弘規(SP23)、小宮隆寛(SC23)、小寺穂乃花  
(SB23)、原英寿(SP24)、中山真志(SC24)

### (2) 欠席者44名

中野勝雄(HC5)、星名達行(HC15)、立松佐吉(HC18)、飯島  
宏(HC20)、櫛部一彦(HC26)、矢口晶(HB4)、村上裕章(HC31)、  
井村幸介(HB6)、平山幸司(SP2)、河合匡(SC2)、江島史緒  
(SB2)、山本あゆみ(SP3)、矢野太一(SC3)、小林琢也(SB3)、  
小林麻衣(SP4)、大西新(SP5)、鈴木健太郎(SC8)、森口友  
敬(SB8)、富澤良弘(SC10)、小林宣文(SP11)、露木早紀(SB11)、  
上村勇介(SC12)、高嵩美文(SP13)、厚木将志(SC13)、上村  
和豊(SB13)、保住厚兵(SP14)、神田章宏(SC14)、新山勇人  
(SB14)、田中雅史(SC15)、南川晴紀(SP16)、川崎貴之(SC16)、  
藤川圭太(SB16)、小田本実佳(SB17)、新美恭(SC18)、三  
田一帆(SB18)、松本慧一(SP19)、沖山悠太(SC19)、梅川  
恵美(SB19)、池谷侑紀(SP20)、檜原里奈(SB20)、橋内凌  
汰(SP21)、酒井皓平(SB21)、八武崎力(SP22)、佐々木友哉  
(SC22)、小田祐介(SB22)、野原歩(SB24)

## 3 開会の辞

司会の蓮沼副会長(HC11)から、総会の成立要件は、規約第  
15条第1項第2号により、「総会の成立は構成員の3分の1以上の  
出席を必要とする。」と規定されており、今回は、構成員134名に  
対して87名の出席(Zoom参加20名、書面審議23名、議長委任44名)  
があり本総会は成立することが報告され、開会が宣言された。

## 4 議長団の選出

蓮沼副会長から議長団(正副議長および議事録署名人名)の選出  
に関して説明が行われ、以下の議長団が提案され、全会一致で選  
任された。

議長：松本俊英理事、副議長：前川敏郎理事、  
議事録署名人名：田村啓理事、齋藤昂良理事

## 5 報告及び決議事項

### 【報告事項】

以下の2020年度事業報告、2020年度収支決算報告および2020年  
度監査報告が提示され、全会一致で承認された。

### (1) 2020年度事業報告

- 1) 会報の発行  
同窓会報第24号(通算50号)2021年1月31日(日)に6,500  
部を発行した。
- 2) 学部教職員との懇談会の開催  
2020年7月18日(土)に開催予定であった学部教職員との  
懇談会は、コロナ禍中における大学および理学部の意向を踏  
まえて中止とした。
- 3) 会員集会への援助  
今年度集会援助申請は、1件あり、開催中止になったが、  
事情を勘案して承認した。
- 4) ホームページの運用  
以下の項目などをホームページで適宜更新した。  
(1) 2020年度定期総会(要旨・予算・決算)の報告  
(2) 2020年度本会会務予定を掲載  
(3) 2020年度年会費納入のお知らせ  
(4) 就職ガイダンスの開催(理学部と共催)の報告  
(5) 同窓会報第24号(通算50号)を掲載
- 5) 会員情報の管理
- 6) 第26回就職ガイダンスの開催(2020年度理学部就職ガイ  
ダンスへの共催)  
2020年10月28日(水)、L2号館204講義室に於いて理学部  
との共催により、第26回就職ガイダンスをYouTubeライブ  
で配信により開催(無観客)した。内容は、就職支援講演、  
集団模擬面接、質疑応答(教職課程を含む)とした。
- 7) 理学部若手教員学術集会(理学部の若手教員主催の勉強会  
「若手Lab」)への支援
- 8) 第15回「卒業研究功労賞」の表彰
- 9) 準会員事業への協力(卒業記念パーティー)  
新型コロナウイルス拡大防止の観点から卒業記念パー  
ティーは中止となり祝い金贈呈はなかった。
- 10) 学部同窓会設立記念イベントへの協力  
看護学部同窓会創立30周年記念式典は、延期となったが最  
終的に中止となり、紅緑会設立50周年記念式典は、同様の理  
由で次年度に延期された。
- 11) 退任教授への花束贈呈  
2021年3月12日(金)に開催された物理学科生物物理学講  
座、米田茂隆教授の退任記念講演会に出席し、本会から花束  
を贈呈した。



(2) 2020年度収支決算報告

自2020年4月1日 至2021年3月31日

収入の部 (単位:円)

費目	① 予算	② 決算	増減(②-①)
学部還元金	4,894,000	4,894,000	0
年会費	300,000	320,000	20,000
会報送料補助	425,000	425,000	0
利子	1,000	639	△ 361
前年度事業資金	0	0	0
雑収入	0	2,520	2,520
積立金戻入	0	0	0
前年度繰越金	1,651,520	1,651,520	0
合計	7,271,520	7,293,679	22,159

支出の部 (単位:円)

分類	大項目	中項目	① 予算	② 決算	増減(②-①)
運営費	会議費	総会費		267,612	
		理事会費	1,080,000	446,174	786,097
		委員会費		72,311	
	事務局費	事務人件費		1,232,534	
		通信費		22,466	
		物件費	1,730,000	203,223	1,459,103
		雑費		880	
	渉外費	慶弔費		10,000	
		交際費	300,000	3,240	13,240
	事業費	集会援助費		200,000	13,700
会報発行			1,350,000	1,218,527	1,218,527
就職ガイダンス			740,000	409,524	409,524
教職員との懇談会		懇談会費	0	0	0
講演会協力費		担当手当	100,000	36,340	36,340
学術集会支援費			50,000	50,000	50,000
卒業研究功労賞			120,000	120,000	120,000
準会員支援		卒業祝賀会協賛金	150,000	0	0
ホームページ		プロバイダー費	50,000	51,477	51,477
25周年記念		寄附	0	0	0
積立金		1,150,000	1,150,000	1,150,000	
次年度用事業資金		0	0	0	
予備費		251,520	0	0	
合計		7,271,520	5,308,008	5,308,008	

次年度繰越金	1,985,671
--------	-----------

貸借対照表

2021年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	87,833	前期積立金	9,620,638
郵便貯金	257,718	次年度繰越金	1,985,671
普通預金	3,845,141		
事務局用普通預金	310,319		
定期預金	7,105,298		
合計	11,606,309	合計	11,606,309

(3) 2020年度監査報告

監査報告書

北里大学理学部同窓会規約第9条第4号の規定に基づき、2020年度(自・2020年4月1日 至・2021年3月31日)の会計並びに事業の執行を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

2021年4月3日

北里大学理学部同窓会

監事 

監事 

【決議事項】

第1号議案 新代議員選任(3名)の件

学部から推薦された2020年度卒業生(理学部24期)の新代議員3名の選任が提案され、全会一致で承認された。

- ・物理学科 原 英寿 さん
- ・化学科 中山 真志 さん
- ・生物科学科 野原 歩 さん

第2号議案 交代代議員選任(1名)の件

霜田れもんさん(SB22)を本会理事に推薦するにあたり、交代代議員として同学科同期の小田雄介さんが全会一致で承認された。

第3号議案 現任代議員一括再任の件

1966年3月~2020年3月卒業代議員については交代者を除き、全員一括で再任されることが、全会一致で承認された。

第4号議案 役員選任の件

以下の第10期役員候補者について、全会一致で承認された。

- 会長 甲斐 恒人(HC20)  
 副会長 蓮沼 良一(HC11) 須貝 昭彦(HC18)  
 田村 啓(SB4)  
 理事 島崎 道広(HC12) 藤本 玲子(HC12)  
 内田 宏(HC14) 森 孝之(HC14)  
 八井田文子(HC19) 千葉 貴子(HC28)  
 木村 武俊(HB1) 秋本 護(HB4)  
 前川 敏郎(HB4) 福山 勝也(HC31)  
 酒井 利奈(SP1) 中野 章代(SC3)  
 松本 俊英(SP8) 前田 晴紀(SC9)  
 齋藤 昂良(SB10) 霜田れもん(SB22)  
 [計16名]  
 監事 長原 勝彦(HC1) 村上 裕章(HC31)

・斜体は新役員

第5号議案 規約改正の件

止むを得ない事情がある場合は対面以外の方法で総会の審議や表決が可能なることを規約に明示しておくための改正案について全会一致で承認された。

新	旧
(総会) 第15条 総会の構成および運営は次のとおりとする。 (中略) (8) 特に緊急を要する場合は、または、対面での開催が困難であると理事会が判断した場合には、電磁的方法あるいは書面審議等で総会に代えることができる。	(総会) 第15条 総会の構成および運営は次のとおりとする。 (中略) (8) 特に緊急を要する場合は構成員の手書審議で総会に変えることができる。
附則 14 本規約は2021(令和3)年5月22日より施行する。	

注) 下線部が変更部分

第6号議案 2021年度事業計画書の件

以下の2021年度事業計画書が提案され、全会一致で承認された。

- 1) 会報の発行  
同窓会報第25号(通算51号)を2022年1月に発行する。
- 2) 学部教職員との懇談会の開催  
学部教職員との懇談会を2021年7月に開催する。
- 3) 会員集会援助の継続  
同窓生が同期会等を開催する際、200名までは1名あたり200円を、201名以上は1名あたり100円を援助する。ただし、同一趣旨の会への援助は年1回までとする。
- 4) ホームページの運用  
①新しい情報を会員へ提供するため、ホームページを随時更新する。  
②SNSでの情報提供に関して引き続き検討する。
- 5) 会員情報の管理  
本会の個人情報保護方針に即して、北里大学同窓会と連携しながら会員情報を管理・運営する。なお、会員集会援助に伴うDM用タックシールおよび当該名簿一覧表は継続的に提供する。
- 6) 第27回就職ガイダンスの開催(理学部と就職ガイダンスを共催)  
2021年10月に理学部3年生、修士1年生および博士2年生を対象とした就職ガイダンスを理学部と共催する。
- 7) 理学部若手教員学術集会への支援  
理学部の若手教員主催の勉強会「若手Lab」に対して援

助する。なお、この会の活動は、理学部も認知しており、理学部（自己点検・評価委員会）から業績の評価対象になっている。

- 8) 北里大学同窓会公開講演会開催  
開催延期になっていた本会担当の北里大学同窓会公開講演会を開催する。
- 9) 第16回「卒業研究功労賞」の表彰  
卒業研究において学生の取りまとめ等、秀でた活動を行った学生に対して卒業研究功労賞を授与する。
- 10) 準会員事業への協力（卒業記念パーティー）  
卒業記念パーティーに祝い金を持参する。
- 11) 紅緑会設立50周年記念式典への協力  
紅緑会設立50周年記念式典に役員が祝い金を持参して出席する。

#### 第7号議案 2021年度収支予算案の件

以下の2021年度収支予算案が提案され、全会一致で承認された。  
自2021年4月1日 至2022年3月31日

#### 収入の部

(単位：円)

費目	① 2021年度	② 2020年度	増減(①-②)
学部還元金	5,032,000	4,894,000	138,000
年会費	300,000	300,000	0
会報送料補助	437,000	425,000	12,000
利子	1,000	1,000	0
前年度事業資金	0	0	0
雑収入	0	0	0
積立金戻入	0	0	0
前年度繰越金	1,985,671	1,651,520	334,151
合計	7,755,671	7,271,520	484,151

#### 支出の部

(単位：円)

分類	費目	① 2021年度	② 2020年度	増減(①-②)	
運営費	会議費	総会費	1,000,000	1,650,000	570,000
		理事会費	550,000		
		委員会費	100,000		
	事務局費	事務人件費	1,350,000	1,730,000	1,730,000
		通信費	50,000		
		物件費	300,000		
		雑費	30,000		
	渉外費	慶弔費	200,000	300,000	300,000
		交際費	100,000		
	事業費	集会援助費		200,000	200,000
会報発行			1,350,000	1,350,000	0
就職ガイダンス			740,000	740,000	0
教職員との懇談会		懇談会費	250,000	0	250,000
講演会費		担当手当	100,000	100,000	0
学術集会支援費			50,000	50,000	0
卒業研究功労賞			120,000	120,000	0
ホームページ			60,000	50,000	10,000
準会員支援		卒業祝賀会協賛金	150,000	150,000	0
積立金			900,000	1,150,000	△ 250,000
次年度用事業資金		0	0	0	
予備費		155,671	251,520	△ 95,849	
合計		7,755,671	7,271,520	484,151	

#### 第8号議案 名誉会長選任の件

前会長の沼上清彦氏が全会一致で名誉会長に承認された。

#### 6 質疑応答

麻生代議員 (HC8)：「理学部若手教員学術集会への支援」の援助金5万円はどのように使われているのか？

回答 (田村担当理事)：例年は会場費や懇親会費に使用してきたが、コロナ禍の現在は、学内で行い、学生の発表に対する奨励金と研究学術に役立つような記念品のプレゼントなどに使用している。

麻生代議員：この5万円は有効な使われ方だと思うか？

回答 (沼上会長)：金額5万円では研究奨励金としては少なく、現状の金額では研究者育成の一助に使っていただくのが適当と考えている。

麻生代議員：この事業が実効性や発展性のあるものになるように考えてもらいたい。

回答 (沼上会長)：今後、甲斐会長のもとで、前向きに検討していただければと思う。

前田代議員 (SC9)：就職ガイダンスに対する学生の満足度はどうなっているのか。

回答 (甲斐担当副会長)：例年、終わったあと良かったという感想はいただいているが、今回の数字はまだ上がっていないので。評価についての数字がわかったら発表させていただきたい。

渡辺代議員 (HC30)：SNSの情報提供については引き続き検討するというところであるが、北里大学理学部同窓会のツイッターアカウントの発信は2019年2月を最後に更新されていない。同窓会活動が停滞しているように判断されるのでケアした方が良いのではないかと。

回答 (前川担当理事)：同窓会からの発信情報はそう多くはなく、どのように活用していくかは今後考えていく必要があると思うが、連絡チャンネルの一つとして使えるので削除は考えていない。役員間の連絡は現在はメールレベルで用が足りている現状だが、Zoomなどオンラインでの会議はできるようになっており、役員間の情報ツールとしてはSlackも利用している。

前田代議員 (SC9)：会報送付部数6500部の試算はどうしているのか。

回答 (秋本担当理事)：会報の発行部数の試算ですが、新卒会員の増加分に対して送付できない連絡先不明会員の増加があり、実質的に発行部数はさほど増えていない状態なので、当該予算は据え置きとしている。

補足回答 (沼上会長)：不明会員の増加は好ましいことではない。同期会などの会員集会に対して、助成金や名簿のタックシールを提供する代わりに開催者に名簿のクリーニングをお願いしており、名簿の精度を上げるためにもコロナ禍が過ぎたら積極的に同期会を開催していただければと思っている。

奥田代議員 (SP12)：理学部同窓会費納入率1.3%の増減の情報があったら教えていただきたい。今後、減少するようなら支障があるので同窓会の潤滑な運営のためにテコ入れが必要なのではないかと。

回答 (沼上会長)：理学部同窓年会費のみならず、北里大学同窓会年会費や学校法人北里研究所からの寄付金募集などで、納入率が一番低いのが理学部の卒業生であり、その理由は理学部が職能性に立脚していない学部であることに起因していると考えられる。理学部の学生は他学部と違い、同じ目的に向かっているわけではなく、それぞれの思いは入学時も卒業後もバラバラなので、理学部在校生に理学部や本会に対する思いや関心を高めるためのさらなる活動が必要だと思う。ちなみに現状は就職ガイダンスや若手研究者に対する支援活動にとどまっている。

補足回答 (前川理事)：会費の徴収率を高める一つとして、銀行、郵貯、コンビニなど振込み方法の多様化があるが、いずれも会費に対する手数料のコストパフォーマンスが良くない。しかし、オンラインで振込手数料が低いものも出てきたので、多角的に検討していきたいと思っている。

麻生代議員 (HC8)、渡辺代議員 (HC30)：代議員の定年制はどうなっているのか、理学部同窓会規約第10条2項によると同学科同期が最後の一人になるまで選んでいくことになるわけで、検討する必要があるのではないかと。

回答 (沼上会長)：長原監事が総務担当副会長であった時に代議員のあり方に関する委員会を立ち上げて検討していただいた。その結果ですが、今後の代議員数の動向のシミュレーションによれば、卒業期の早い方から順次代議員が出せなくなり、増減がプラトー化する確率が高いというものだった。したがって、敢えて定年制を導入しなくても「同期同学科で会員数の減少などにより代議員を選出もしくは補充できなくなった場合は、当該期・学科の代議員を総会定足数における代議員数に含めない。」というような取り決めを設ければ済むというものであり、定年制によって代議員を絞るという考え方もあるのですが、広く意見をいただくためにも年配の方がいても良いという考え方である。



# 就職ガイダンス

2021年10月27日(水)、IPE棟IPEホールにおいて、理学部3年生、修士課程1年生、博士課程2年生を対象とした第27回目となる理学部就職ガイダンスを行いました。就職講演と集団模擬面接および講評をWeb開催し、後日就職講演のみオンデマンド配信しました。

## ガイダンス内容

### ・就職講演「自分に適した職業」

バイオジェン・ジャパン株式会社 山本 渚氏 (SB15)

### ・集団模擬面接、講評

太陽ファルマ株式会社

HRコンサルタント

藤田嘉一氏 (HC17)

多田素子氏

## ・質疑応答

(質問票回答・教職課程質問を含む)

左記3名



会長挨拶



太田先生挨拶



講評写真

## 『模擬面接を通して感じたこと』

物理学科3年 松本 孝広

この度は厳しいご時世の中、模擬面接という貴重な機会をいただき誠にありがとうございました。

主催いただいた皆様に感謝申し上げます。

第6回就職ガイダンス(模擬面接)にて全体的に感じたこととしては、自分はまだまだ就職活動の初心者であるということです。細かく分けると、一つ目に自己紹介書(エントリーシート)の書き方が全く他の方に提出できる形になっていなかったこと、二つ目に面接は実践、できれば対人での練習が不可欠である、ということの2点となります。

一つ目の自己紹介書の書き方ですが、理系大学に所属していながら客観的に評価できる数字表現・定量表現が乏しいこと、学部での勉強・研究を紹介するときに専門用語を多用しすぎていることなど、まとめて初めて読んでいただく方がイメージしやすくなる表現ができていなかった、と痛感することになりました。貴重なご指摘をいただいたため、今後の活動に活かしてまいりたいと思います。

二つ目の面接の練習については、これは必ず事前にやっておくべき重要なことだと強く感じました。

普段から面接ということは受け慣れているものではないことから、より準備が必要であること、あらかじめ話すことを考え、それを丸暗記するのではなく内容の核をおさえておき、話す過程で肉付けしていくことの練習という点の2つから事前に面接というものに慣れておく大切さを学ぶこととなりました。

## 『学びの多かった模擬面接』

化学科3年 浅見 萌

この度は模擬面接に参加させていただきありがとうございました。もし全員が模擬面接を体験できるなら、絶対体験したほうが良いと思うほど良い経験でした。実を言うと、本番直前まで模擬面接に参加することを少し後悔していました。本来の面接ではないはずの聴衆、また、初めての集団面接でもあったのでとても緊張していた、できれば参加する側ではなく観覧する側でいたかったと思っていました。しかし、実際に始めてみると確かに緊張はしましたが、面接の空気感、緊張しているなかでいかに受け答えを上手に行うか、つぎにどんな質問

が来るかなど参加してみないとわからないことがたくさん学べました。私はあまり上手に受け答えができなかったのですが、もしこれが第一志望の企業だったらとおもうとぞっとするし、また他の参加者の良い点を真似していこうと思えました。そして、この面接とESのフィードバックを行ってもらい今後の助けになりました。自分では気づくことができないことや足りないことをはっきり言ってもらうことができ、今後自分で行わなければいけないことがわかってきました。この経験を糧にして、就職活動に励もうと思います。貴重な機会を設けていただき、本当にありがとうございました。

感想文でも言いましたが、本当に貴重な機会をありがとうございました。今後に生かしていきたいです。

(クオカードをいただけるとありがたいです!!)

## 『就職ガイダンスを通して』

生物科学科3年 清水あかね

今回、模擬面接を体験してとても多くのことを学ぶことができました。対面の面接を実施したことがなかったため、自分が思っていた以上に課題が見つかりました。また、想像以上に緊張したため、思うように答えられないことがありました。学生生活で得たことなどは比較的話すことができたのですが、自己アピールや自己紹介があまりうまく話すことができませんでした。自己分析をしたつもりでもまだまだ浅く、企業側が何を求めている

のかを改めて考えなくてはいけないと思いました。

模擬面接だけでなく、自己紹介書の添削や、書き方では、まだ多くの改善点があり、自分で書いて終わりではなく、多くの人に見てもらえることでより良い文章を作ることができると感じました。書き方や言い回しなども大変参考になりました。他にも、OBの方の就活のお話や、質疑応答などから、これから就活をするにあたってやるべきことや気をつけること、自分の現状と課題などを改めて知ることができました。

これから本格的な就職活動が始まる前にこのような貴重な体験ができてよかったです。この経験を生かして、本番ではより良いものができるように、これからも努力していきたいと思います。ありがとうございました。

## 『模擬面接に参加して』

分子科学専攻修士課程1年 井上 大瑠

本格的な就職活動を控えている私自身、一度も面接の経験をしたことがなかったことが不安だったので、面接練習として今回の模擬面接に参加する希望をしました。当日を迎えるにあたって、私なりに自己分析をし、面接の際に聞かれると考えられる質問の答えを考えて挑みました。当日は、教室の広さ、web配信が相俟って今まで経験したことのない緊張感がありました。そのため、事前に考えていた通りに話すことが出来なかったり、話のまとまりのある伝え方が出来なかったり、自己分析の甘

さを感じました。しかし就職活動が始まるまえに、このようなことを実際に経験できたことは、とても好様であったと思います。

ガイダンス終了後に、面接官をしてくださった方から、模擬面接のフィードバックをいただきました。自信に繋がる点と修正したほうがよい点を聞くことができました。この文章内で具体的なことを書くことは控えるのですが、フィードバックより今後の就職活動をしていく中で、大変勉強になる点が多くありました。

最後にはなりましたが、貴重なお時間をいただき模擬面接の面接官をしてくださった方や企画、実施してくださった理学部同窓会様並びに関係者の方々、誠にありがとうございました。

## 『模擬面接を通じて感じたこと』

分子科学専攻修士課程1年 金子 拓真

この度は、コロナ渦の中、このような貴重な機会を設けていただきありがとうございました。これから就職活動をしていく上で、非常に貴重な経験になりました。

最初に模擬面接のお話をいただいた時は、正直やりたくない気持ちの方が大きかったと思います。私は人前で話すのが苦手だったからです。しかし、だからこそ私に

にとって良い経験になると思い、参加させていただきました。実際に模擬面接を終えて、本番さながらの雰囲気での面接で、今の私がどのような受け答えができるのか、これからどこを改善していけば良いのかなど、私自身の現在地を知れたと思います。もしかしたら面接を受ける一社目が第一志望かもしれませんし、本番前にこのような経験をできたことは、良かったと思いました。

今回のガイダンスで学んだことをもとに、今後の就職活動を頑張っていきたいと思います。重ね重ねになりますが、運営・企画してくださった関係者の皆様、誠にありがとうございました。



(学部生) 左から 松本さん、浅見さん、清水さん



(大学院生) 左から 井上さん、金子さん、露木さん、関さん

## 『模擬面接で学んだこと』

生物科学専攻修士課程1年 露木 弘美

模擬面接に参加して、面接官視線を意識して回答することの重要性を学びました。面接官から質問される内容には意図があり、ただその質問に答えるだけでは印象に残らないのだと気付かされました。例えば、「学部と大学院で学んだ事項を社会にどうやって活かすか」という質問に対しては、今日話題になっているSDGsに触れながら社会貢献をどのように行っていくかを答えることで、面接官の意図に沿った話をする事ができます。模

擬面接中の私の回答は、自分が学んできたことを述べ、それが会社に入社した後も活かせるということだけしか言っていませんでした。自分が学んできたことを社会課題につなげることで、他の学生と差をつける回答ができるということを知ることができました。面接での評価は、また会いたいと思ってもらえるかどうかが一番のポイントであることも教えていただきました。一緒に仕事をしたいと思ってもらえるように、しっかりとアピールできるようにしていきたいです。今回学んだことをこれからの就職活動に活かしていきたいと思います。

この度は模擬面接という貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。

## 『初めての面接』

生物科学専攻修士課程1年 関 皓太

初めに、このような大変貴重な機会を私に与えてくださり、誠にありがとうございました。就職活動で初めての面接となり、大変良い経験になりました。この経験を通じ、できたこと・できなかったことを踏まえ、これから面接対策としてやるべきことが明確になりました。

私は就職活動が非常に不安です。この不安感から対策セミナーの視聴など、できる限り対策を行っていました。その中で“面接では伝えたいことのポイントのみを覚え、それに付け加えて話すようにするとうまく話せ

る”と聞いていました。今回の模擬面接ではこの点が実践でき、緊張を和らげることができたと感じました。

一方で、講師の方や、同窓会の先輩から、様々な改善点を教えていただきました。例えば研究内容をお話する際、テーマ、目的、詳細の順にお話するのが良いですが、目的を飛ばしてしまったことや、数値表現をもっと取り入れた方が良いとアドバイスをいただきました。このような改善点は自分では気づきにくいので、フィードバックをいただき、模擬面接に参加して非常に良かったと感じました。改善点やグループ面接の体験を活かし、今後の選考に役立てたいと思います。

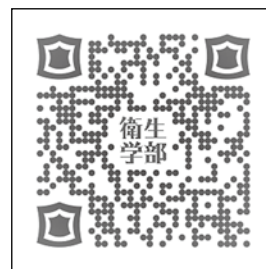
最後になりますが、模擬面接を企画実施して下さった理学部同窓会の皆様、関係者の方々、誠にありがとうございました。

## 旧A1号棟（衛生学部棟）記録映像公開のお知らせ

写真撮影：2018年10月



衛生学部編：  
<https://youtu.be/2tvEFpHYZNA>



制作：医療衛生学部  
制作協力：医療衛生学部同窓会  
撮影：北里研究所ICT推進センター  
動画完成：2021年10月

1973年竣工以来、講義や研究室として利用されてきた旧A1号棟（衛生学部棟）が、2021年1月に役目を終え、2021年秋に建物の解体が終了しました。医療衛生学部と医療衛生学部同窓会が、解体直前の校舎を撮影し、ナレーションや字幕を加えて記録映像「思い出の学び舎～わが青春ここにあり～」として動画を残してくれました。この記録映像はYouTube（限定公開）にアップされており、当該URLあるいはQRコードから視聴できます。公開期間は2022年3月末までの予定です。映像は、衛生学部同窓生有志が各教室をめぐるツアーとなっており、卒業生の皆様が学生時代を思い出す懐かしい風景が次々と映し出されておりますので、ぜひアクセスしてみてください。



## 今は昔の相模原キャンパス

HC20 甲斐 恒人

新型コロナによって日々の生活が窮屈なものになっていて、気分も今一つはっきりしません。そんな憂鬱なご時世に、昔はどうだったかなとふと、入学当時の北里大学の事を思い出しています。手元に『35年の軌跡と回顧』と題された衛生学部35周年誌があります。北里大学衛生学部閉校記念に刊行された図書です。

ご存知のように、1962年4月に北里大学は衛生学部化学科・衛生技術学科を擁してスタートしたのです（1968年産業衛生学科、増設）。校舎は現在の白金キャンパスに建てられました。2年後の1964年には薬学部が開設されますが、構内には以前より北里研究所研究棟・製造棟、病院、学院などの施設が林立しており、今後、医学部を含め生命科学に特化した学部・学科を新設するには広大なキャンパスが必要となったのです。紆余曲折、協議・検討の末、現在の相模原の地が教育・研究の拠点として決定されました。1968年4月、教養部が相模原キャンパスに一番乗りを果たし、1972年には衛生学部も移転してきました。さらに1970年医学部が開校し、いよいよ大学キャンパスとして地域社会からの注目を集め始めます。写真1は1975年当時の状況です。写真2は2020年10月29

日に撮影した全景です。1975年時代より残っている校舎は衛生学部と医学部の校舎だけです。

しかし、その衛生学部の校舎も2021年3月から解体が始まり、9月28日に終了し更地になっています。私自身、在学中はバスを降りてから衛生学部の校舎へ続くメインストリートを歩いたものでしたが、今や広大な運動場や教養部の斬新なスタイルの校舎は新たな施設に生まれ変わり最先端の教育・研究が推進されています。

それでも、今も昔も変わらないものがあります。それはバス事情です。現在はスクールバスが運用され利便性が上がったとはいえ、雨の降る日は道路が混みます。私たちの時代は、学校に辿り着く迄、1時間も掛かってしまいます。このバス事情が卒業生の時代を超えての共通の話題であり、語り草になっている、というのは北里らしくて、それはそれでいいのかもしれない。そんなことを思う今日この頃です。

皆さん、一度、相模原キャンパスへ足を運んでみては如何でしょうか。



写真1



写真2

## 2022年度 年会費納入のお願い

本会活動のより活発な活動の為に  
2022年度会費の納入をお願いします。

**年会費：3,000円**

### 納入方法：

- 1) 他の金融機関から「ゆうちょ銀行」に振り込む場合：
  - 銀行名 ゆうちょ銀行 ■ 金融機関コード 9900
  - 店番 029 ■ 預金種目 当座
  - 店名 〇二九店（ゼロニキュウ店） ■ 口座番号 0060155
- 2) 郵便振替の場合：
  - 口座番号：00260-9-60155 ■ 加入者番号：北里大学理学部同窓会

### ★お知らせ★

本会会員同士で結婚されている場合の年会費は、お二人で1名分になります。年会費納入時に振込用紙の通信欄にご夫婦である旨と、氏名および卒業年、学科を必ず記入して下さい。

## 近況報告バトンタッチ

### 『温もりのある学校づくり』

HC9 石川 一郎

私が北里大学に入学したのは、昭和45年でした。ちょうどその年に医学部の一期生も入学しました。1年次は相模原キャンパスで教養課程、2・3年次は白金校舎、4年次は各自の卒業研究先に出向し土曜日だけ相模原キャンパスに通い、卒業研究の進捗状況の報告会でした。当時の相模原キャンパスは医学部の施設も含めて校舎の建設ラッシュでした。

卒業研究は伊勢原市にある「多摩生化学研究所」と言う民間の会社でした。詳しいことは知りませんでした。ステビアやクロロフィルを抽出しそれを原料に食品や医薬品の開発をしていると聞いていましたが、一卒業研究生には詳細はあかさされませんでした。ある意味企業秘密だったのでしょうか。そこでの私の卒業研究は、活性汚泥を用いた排水処理の研究でした。紙面の都合で詳細は省きますが、河川の汚染を含めて公害という環境問題が社会的に注目を浴びる時期でもあり、当時の教授からは教員よりその知識を生かせる企業への就職を強く薦められたのが今でも脳裏に浮かんできます。

それでも私が教師を目指したのは、サークル活動の児童研究会に所属し、様々な福祉施設や僻地の学校を訪問し、そこでの児童・生徒との交流を通して教職という仕事に限りない魅力と生き甲斐を感じたからでした。特に神奈川県丹沢山中にあった清川村立緑中学校丹沢分校（今は廃校）にはサークルの仲間や個人としても何度と無く通い、そこでの先生や児童・生徒との心の交流が教員志望の大きな動機になりました。神奈川県教員採用試験に合格し、迷わず丹沢分校への赴任を希望し教師としての第一歩が始まりました。小田急線の秦野駅からヤビツ峠までバスで50分程、そこから徒歩で約2時間、小中併設で当時の児童・生徒数は4人、教師は私を含めて3名でした。分校は諸事情で2年間で休校になりましたが、後々の教員生活を支える貴重な2年間でした。国語・音楽・英語以外の中学校教科は全て担当しました。教材研究が大変なのはもちろんのこと、教員住宅での自炊生活もまた苦労が多かったですが、反面充実した楽しいあつという間の2年間でもありました。鹿や猿、カモシカ、猪、ツキノワグマ等々ありとあらゆる野生動物との出会い、冬の積雪、春の山菜採り、秋の紅葉、大自然の偉大さや崇高さを肌で感じつつ児童生徒との心と心のふれあいは、打てば響く教育の実践であり、いじめや不登校、校内暴力も無縁のまさにのびのび教育は今でも教育の原点であると思っています。

その後は厚木市や愛川町の大規模校や清川村の宮ヶ瀬というダムで沈んでしまった中学校に勤務し、最後は厚

木市の中学校長で定年退職しました。大規模校では校内暴力やいじめ、不登校生徒の指導に苦慮しながらも山の学校の2年間で学んだ一人ひとりの生徒を見つめ、その心の奥底にある想いを汲んであげる指導に徹してきました。

退職後縁あって東京工芸大学の教職課程で理科指導法を7年間担当しました。今の大学生に、年寄りの退職校長の思いや価値観が通用するのか当初は不安で一杯でしたが、山の分校で学んだ一人ひとりを大切にする姿勢や温もりを感じる指導の在り方は、手前味噌ですが大学生にも通用した様に思います。

教職課程を履修し教師を目指している北里大学の学生さんも多数居られると思います。時代の変化とともに生徒も変わり、それに伴って学習指導要領も改訂されます。ましてコロナの時代、リモートなど指導形態も大きく変わろうとしています。しかしどんなに時代が変わろうとも、教師として大事なものは決して変わらないと信じます。それは生徒一人ひとりをしっかり見つめその生徒の思いや悩み、苦しみ、喜びを共に体感できる温もりのある教師になることでは無いでしょうか。人として変わらなければならないこと、また変わってはならないことをしっかりと見極め、学生時代にしか出来ないたくさん人の人生経験を積み、世の中の動きに敏感な感性を持ち、何事にも前向きに進む、ありふれた言葉ですがこのような生き方や姿勢が問われている時代だと思っています。北里精神を身につけたひとりでも多くの教職を目指す後輩が誕生することを願っています。



# 理学部事務室より

## ● 2022年オープンキャンパス開催情報(未定)

日程は決まり次第HPでお知らせいたします(新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催方法が変更あるいは中止になる場合があります)。各研究室、実験室を開放し様々な展示及び体験型実験教室を開催します。

## ● 2022年進学相談会

### ○入試対策講座・進学相談会開催情報(未定)

日程は決まり次第HPでお知らせいたします(新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催方法が変更あるいは中止になる場合があります)。

学部別入試対策講座および各学科の教員による個別相談を実施します。個別相談では、授業内容や就職先など様々な質問にお答えします。

### ○進学相談会開催情報(未定)

日程は決まり次第HPでお知らせいたします(新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催方法が変更あるいは中止になる場合があります)。

模擬講義・個別相談を実施します。期間中は北里祭も同時開催されます。

## ● 入試過去問題

北里大学ホームページ受験生サイト (<https://www.kitasato-u.ac.jp/jp/goukaku/index.html>) に掲載されています(2021年度入試過去問題集はお問い合わせいただければお渡しすることも可能です)。

## ● 教材の貸し出しを行っています

教員となられた卒業生の皆様に、ニワトリ胚標本、透明骨標本セットを教材として貸し出しています。教科書で教える動物発生よりも後の段階となりますが、肉眼で観察できますので、生徒の興味を惹く素材としてご利用いただけます。



詳細は下記(学生課)までお問い合わせください。

## ● ハーバード大学との国際交流

理学部では、7月にハーバード大学との国際交流プログラムがあります。このプログラムは2009年度から実施しており、国際的な視野を備えた研究者の育成を目指し、米国ハーバード大学の研究者と交流を深めています。

本プログラムは、派遣・招聘を隔年で実施しており、今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により残念ながら派遣(訪問)できませんでしたが、現地の先生方による「オンライン講義およびZoomを用いたリアルタイムでの質疑応答会」を開催いたしました。

## ● 求人情報をお寄せください

本学部の就職状況については、理学部同窓会のご支援もあり、毎年100%近い就職率を維持しておりますが、昨今の経済状況を鑑みると決して楽観出来る状況ではありません。学生たちは学業の傍ら、厳しい就職活動をくぐり抜けなくてはなりません。そこで、同窓会の皆様におかれましては、益々のご支援、ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

求人票の学生への周知や、学内での企業説明会のご要望などを随時承っております。

## ● 理学部公式Twitter

理学部の入試情報や、物理学科・化学科・生物科学科の最新情報・イベント情報などを発信していますので、ぜひご覧ください。



## ● 物理学科模擬授業

主に神奈川県、東京都の高等学校を対象に、6つのテーマを用意し出張模擬授業を実施しております。

詳しくは、北里大学理学部 物理学科 スペシャルホームページ ([https://www.kitasato-u.ac.jp/sci/resea/buturi/phys\\_sp/](https://www.kitasato-u.ac.jp/sci/resea/buturi/phys_sp/)) をご参照ください。



## お問い合わせ先

理学部入試に関すること	TEL 042 (778) 9172 (入試係直通)	FAX 042 (778) 9953
就職に関すること	TEL 042 (778) 8545 (学生課直通)	FAX 042 (778) 9953
大学院入試に関すること (理学研究科入試係直通)	TEL 042 (778) 9083	FAX 042 (778) 9953

## 【就職情報・求人票ご提供のお願い】

北里大学就職センターでは、各企業・機関から受領した貴重な求人情報は、「進路支援システム」（本大学学生用就職情報公開サイト）に一括掲載し、全キャンパスの学生がWebで閲覧できるシステムになっています。

同窓会の皆様から是非、後輩のために求人情報等を就職センターにご提供ください。手続きにつきましては、本学ホームページ「資格・就職」から「求人受付NAVI」（企業登録手続きがあります）を通じ求人情報を入力することができますし、ご郵送・FAX・E-mailでも受付けております。

卒業後に転職・就職を希望している方も既卒者専用「進路支援システム」がご利用できます。ご利用頂く場合には、下記①～⑤の情報を就職センターまでメールでお送りください。折り返し既卒者専用ID・パスワードをお知らせいたします。（在学時のID・パスワードは使用できませんので、ご注意ください。）

メール件名：進路支援システム利用希望

メール本文：①氏名 ②卒業時の学部・学科・専攻 ③卒業年月 ④学籍番号 ⑤システム利用の理由（例：転職等）

【北里大学 就職センター】 TEL 042-778-9745  
E-mail syusyoku@kitasato-u.ac.jp

## 同窓会からのお知らせとお願い

平素は同窓会活動にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。以下の点につきまして、会員の皆さまにお知らせとお願いがございます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 【同期会や研究室の同窓会を開催予定の方へ】

理学部同窓会では、正会員が同期会や研究室の同窓会（以下、同期会等という）を開催される場合に、当該名簿リストやタックシールの提供、それに通信費用の援助を行う事業を行っています。加えて、平成29年より同期会等の開催を本会ホームページに掲載するサービスを新たに開始しておりますので、是非本制度をご活用下さい。詳しくは理学部同窓会のホームページ（<https://kitasato-rigaku-d.jp/>）をご覧ください。

### 【理学部パンフレット同封について】

2008年第11号の会報発送より、北里大学理学部パンフレットを毎年1,000名の方々に同封しております。現在の北里大学理学部の様子がわかる他、ご子息・ご息女やお知り合いの方々に北里大学理学部をご紹介いただければ幸いです。

### 【同窓会へのメールについて】

近年、迷惑メールが増加しております。その判別のために、会員の皆さまが本会にメールされる場合は、「件名」欄に以下の事項をご記載下さいますようお願い申し上げます。

＜卒業年または卒業期、卒業学科、氏名＞

記載例：1971年化学科卒業 理学太郎 または  
HC6 理学太郎

### 【会報への寄稿について】

同窓会会報は年に1度の同窓生との交流の場です。皆さまの近況報告や同期会のお知らせ、大学時代の思い出などをお気軽に寄稿下さい。同時に、会報へのご意見もお寄せいただければと思います。

## 編集後記

同窓生の皆さまこんにちは。SC3の中野章代（旧姓鈴木）です。理学部同窓会報第25号をお届け致します。ご寄稿いただきました方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。今回は近況報告バトンタッチの記事が少なく、お詫び申し上げます。ご寄稿いただける数も減っている状況です。もしご自身の近況を同窓生にお知らせしたいという方がいらっしゃいましたら、是非原稿をお送りください。また同窓会報につきまして、ご意見ご感想がありましたら事務局までお寄せください。

コロナ禍が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。家で過ごす時間が多くなってきている事と思います。なかなか外出できないストレスを解消するため、皆さまは何をされていますか？私は思い切って市民農園を借り、畑で野菜作りを始めました。雑草で敷き詰められた場所を自分の手で耕すことから始め、今では冬野菜のキャベツや白菜が大きく実っています。これまで使ってこなかった筋肉を使って足腰がプルプルするほどの筋肉痛を味わったり、スーパーの野菜には絶対付いていない土や虫が付いた新鮮野菜を収穫したり、大量の野菜をどう料理して食べきるか本気で悩んだり、新たな経験がコロナ禍でなまった身体と心を癒やしてくれています。皆さまも何か新しいことを始めませんか？

### 北里大学理学部同窓会報

発行 2022年1月31日  
発行者 北里大学理学部同窓会  
〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1  
北里大学理学部内 TEL/FAX 042-778-9032  
E-mail : info@kitasato-rigaku-d.jp  
責任者 甲斐恒人



資源循環型畜産で育った牛肉

# 草熟北里八雲牛の加工食品

品質に  
配慮した  
赤身肉!



こだわり

## 北里八雲牛

八雲町の風土に適した日本短角種を中心に外国種と交雑。資源循環型畜産の理念を掲げ、放牧と自前の牧草のみで飼育しブランド化に成功しました。牧草の旨みをとじこめたコクのある赤身肉は栄養成分も多く、北里大学の附属病院で病院食としても利用されています。



ハンバーグ  
1パック 400円



ビーフシチュー  
1パック 648円



コンビーフ  
1箱(3缶入り) 1,500円  
1缶 500円

表示価格は、税込み価格となります。

## オリジナルクッキーが復刻します

北里柴三郎先生の銅像をデザイン



北里大学オリジナルクッキー33枚入り

今春発売予定 2,160円

2021年5月29日 NIKKEIプラス1  
に掲載されました



ビーフカレー  
1パック 540円

美味しさを  
つくり出す  
製造工場!



こだわり

創業明治12年 / 函館

五島軒は初代店主、若山惣太郎がロシア料理とパンケーキの店として明治12年に創業しました。明治19年の大火後フランス料理店として再出発し、以来みなさまにケーキや洋食・カレーなど多彩な味をお届けしております。

Life Shop ON LINE

北里ライフショップ 公式オンラインショップ



オリジナル商品の  
ご購入はオンラインショップが便利